

ACP

事例から学ぶ



事例紹介セミナー

意思決定支援の考え方に沿ったケアマネジメントの作成や介護施設で入所者の人生の最終段階における意思決定支援に関わる支援、さらには2024年度の診療報酬改定で、入院料の通則に、ACPの実践ができる体制が追加され、ACPの話し合いにおいては、どの職種が適しているという見解なく、それぞれの専門性を活かしてプロセスを進めることが推進されています。今回は、医療・介護の現場でACPのプロセスをどう進めたか、どのようなことで悩んだか、など、事例から学ぶセミナーです。

日時

2024年7月27日(土)
14:00~16:30

会場

堺商工会議所 大会議室
堺市北区長曾根町130番地23 100名

講師

近畿中央呼吸器センター
心療内科科長/支持・緩和療法チーム室長
所 昭宏先生
大阪ろうさい病院 緩和ケア科部長
任 幹夫先生
ベルランド総合病院 緩和ケア科部長
山崎 圭一先生

事例呈示

緩和ケア病棟で積極的治療を
希望された患者と家族のケア
～ACPを通して理解した患者の
揺れ動く思い～

耳原総合病院

緩和ケア認定看護師 橋本 友里

救急搬送されたが、糖尿病性
足壊疽で下肢切断を勧められ
自主退院した利用者

南第1地域包括支援センター

社会福祉士 徳永 周平

申込フォーム

※ 6/20 締め切り 応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選の結果は 6/30頃郵送します。

※ ※ 大阪府医師会生涯研修システム2.5単位 (76 糖尿病 81 終末期ケア)

お問い合わせ 堺市医師会 堺地域医療連携支援センター

072-221-3030

